



いざ鎌倉！ JAPAN CHALLENGER AWARD 2022 in 建長寺
開催報告書

公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

みなさまにおかれましてはますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

建長寺にて、去る10月27日「いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD 2022」を大盛況のうちに終えることができました。ご参加いただいた皆様、またご尽力いただいた皆様、多大なご支援を賜り誠にありがとうございました。

全国から地方創生に関わる方々が集結する「地方創生の祭典」となり、建長寺の佇まいも手伝い、チャレンジャーを含めた発表者、参加者、裏方全員が素敵な表情であったことが印象的でした。

また感染予防に努め、コロナ禍での対応もスムーズに進めることができました。私たち、公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクトは、今後もJAPAN CHALLENGER 7名を1年間サポートをして参ります。軌道に乗せるまで伴走していきます。

次年度も、「いざ鎌倉JAPAN CHALLENGER AWARD 2023」を開催する予定です。さらにバージョンアップしたプログラムを計画しております。今後とも地方創生を目指す地域起業家や地域のワカモノの発表の場を提供し、かれらの地方創生事業の「スイッチ」を入れる機運醸成を行っていきます。

私たちのミッション「地域起業家が人気業種となり、地方創生事業が各地域で成功すること」を実現するため、全力で進めてまいります。

これからもどうぞ、みなさまのご支援賜りますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

令和4年11月吉日

いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD2022プロデューサー

公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト代表理事

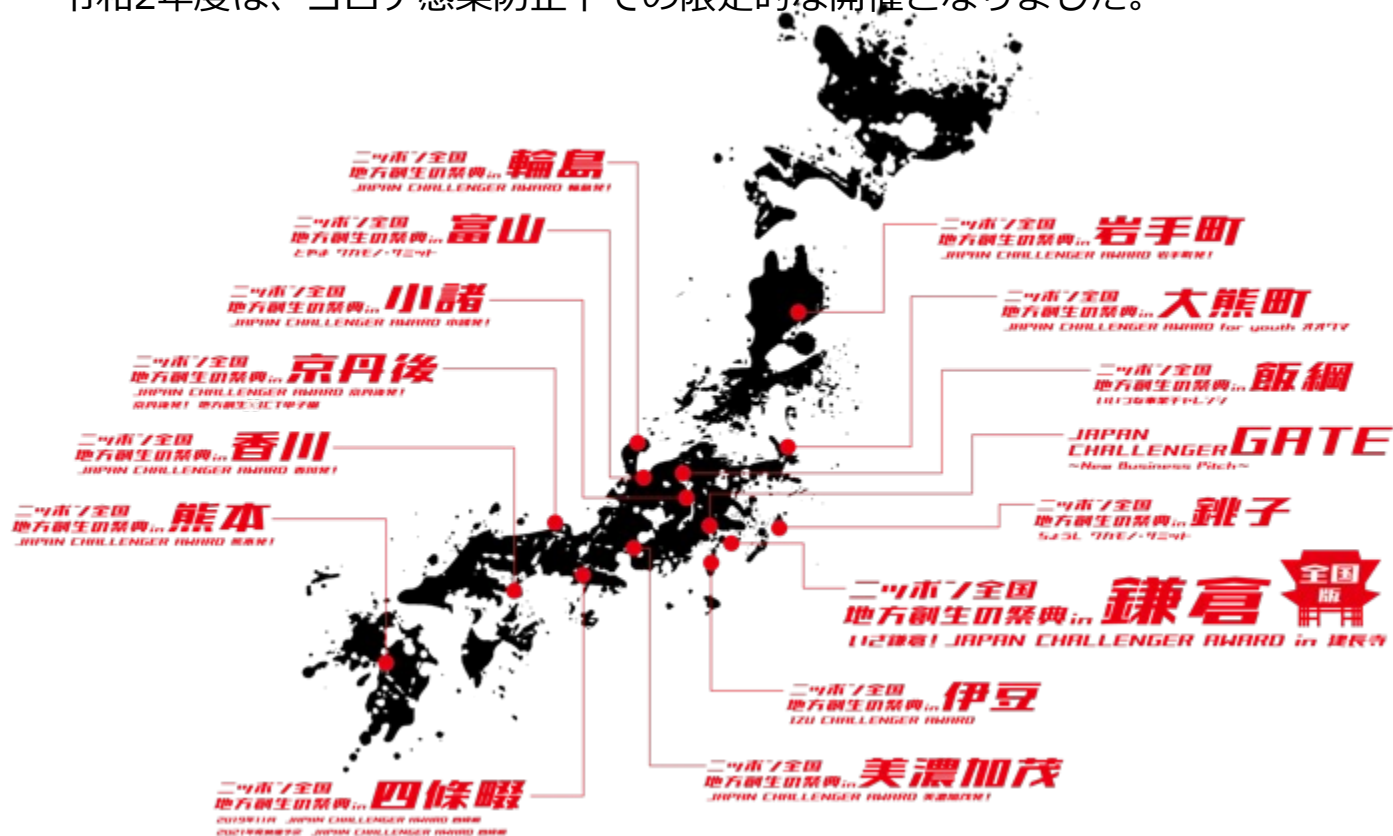
中川直洋

JAPAN CHALLENGER AWARDとは

JAPAN CHALLENGER AWARDとは

地域の魅力化や課題をビジネスで解決する「ビジネスアイデア」を持った起業家たちと、その事業を応援したい地元企業とのマッチングを行うビジネスコンテスト型のイベントです。「ジャパンチャレンジャー」と呼ばれる挑戦者たちが、自らのビジネスプランを審査員やイベント参加者の前で発表し、グランプリを目指します。また、ジャパンチャレンジャーのプランを聞き、関心をもったサポート企業からは、出資や事業提携などのオファーがくることもあります。地域起業家を応援することはもちろん、さらには彼らジャパンチャレンジャーの熱い想いを聞いた参加者のみなさんが「地域を元気にしたい」という意識を持ち、地方創生のムーブメントを起こすことを目指しています。

令和2年度は、コロナ感染防止下での限定的な開催となりました。



令和3年度 実施開催地

- ・日本全国地方創生の祭典 飯綱
- ・日本全国地方創生の祭典 香川
- ・日本全国地方創生の祭典 おおくま
- ・日本全国地方創生の祭典 銚子
- ・日本全国地方創生の祭典 益城
- ・日本全国地方創生の祭典 岩手町
- ・日本全国地方創生の祭典 美濃加茂
- ・日本全国地方創生の祭典 京丹後
- ・日本全国地方創生の祭典 四條畷
- ・JAPAN CHALLENGER GATE (東証)



開催概要

いざ鎌倉！ JAPAN CHALLENGER AWARD 2022 in 建長寺

■ 日時：令和4年10月27日（木）

■ 場所：建長寺（神奈川県鎌倉市山ノ内8）

■ 参加方法：オンライン参加費：2,000円

■ 主催：公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

■ 後援：内閣府、経済産業省、総務省、農林水産省、観光庁、デジタル庁
神奈川県、鎌倉市 東京証券取引所

■ 運営：JAPAN CHALLENGER AWARD事務局

（コロナウイルス流行に伴い、内容が変更する恐れがあるため詳細は確定次第発表いたします。）

■ YouTube配信 <https://www.youtube.com/watch?v=FaZHtH-rizM>

地方創生の祭典
JAPAN CHALLENGER AWARD 2022 in 建長寺
The 13 Challenger vs Judge

いざ鎌倉!

2022.10.27 (thu)

地域起業家の挑戦を応援する
面白エンターテイメント
ビジネスコンテスト

地域の魅力や課題をビジネス化で解決するローカル起業家たちと著名な事業家がジャッジする。ローカルビジネスコンテストの最高峰イベント。日本全国から選ばれた7人起業家がローカルビジネスモデルプランを発表します。

参加者募集!
お一人様・税込
2,000円
13:00 決戦開催!
16:30 終了(予定)

参加のお申込はこちら

各分野のプロフェッショナルが「ジャパンチャレンジャー」に審査・アドバイスをおくる。

全国から選ばれた7人の「ジャパンチャレンジャー」からグランプリが決定する。

グランプリ受賞者には!
300,000円
&
100万円
全面的サポート

JAPAN CHALLENGER 選手No.1 岡 えり 「食の魅力を最大限に活かす」 「食の魅力を最大限に活かす」	JAPAN CHALLENGER 選手No.2 久保 裕司 「Web3.0で新しいビジネス」 「Web3.0で新しいビジネス」	SUPER REVISOR No.1 藤野 英人 「AIとマーケティング」 「AIとマーケティング」	SUPER REVISOR No.2 柳澤 大輔 「AIとマーケティング」 「AIとマーケティング」	
JAPAN CHALLENGER 選手No.3 仙田 大騎 「食の魅力を最大限に活かす」 「食の魅力を最大限に活かす」	JAPAN CHALLENGER 選手No.4 中川 めぐみ 「食の魅力を最大限に活かす」 「食の魅力を最大限に活かす」	SUPER REVISOR No.3 中村 利江 「AIとマーケティング」 「AIとマーケティング」	SUPER REVISOR No.4 石坂 典子 「AIとマーケティング」 「AIとマーケティング」	
JAPAN CHALLENGER 選手No.5 中田 樹 「食の魅力を最大限に活かす」 「食の魅力を最大限に活かす」	JAPAN CHALLENGER 選手No.6 藤村 幸澄 「食の魅力を最大限に活かす」 「食の魅力を最大限に活かす」	JAPAN CHALLENGER 選手No.7 和田 道也 「食の魅力を最大限に活かす」 「食の魅力を最大限に活かす」	SUPER REVISOR No.5 田澤 麻里香 「AIとマーケティング」 「AIとマーケティング」	SUPER REVISOR No.6 村口 和孝 「AIとマーケティング」 「AIとマーケティング」

主催：公益社団法人 ジャパンチャレンジャープロジェクト 後援：内閣府、経済産業省、農林水産省、観光庁、デジタル庁、東京証券取引所、神奈川県、鎌倉市
制作：イオス・キャピタルワークス株式会社、面白法人カヤック、他 協力：建長寺 参加費：無料（お申し込みは JAPAN CHALLENGER AWARD事務局宛） info@japanchallengerproject.com

ブラッシュアップセミナーの実施

8月11日(祝日)オンラインにて、いざ鎌倉のチャレンジャー7名の事業ブラッシュアップセミナーを実施しました。

会長理事の藤野さんが直接講義と指導を行い、チャレンジャー7名からの事業に関する質問に丁寧にお答えいただきました！

また、昨年度のアワード登壇者の干場さんより、「アワードに出て変わったこと」をテーマにお話しいただきました！

チャレンジャーたちからも、アワードに生かしたいと意気込みをもらえました！

個別サポート

リモートにて、チャレンジャー1名ずつと、個別指導を通した事業プランのブラッシュアップを2度行いました。

当団体では、ビジネスモデルをブラッシュアップするためのノウハウと、事務局の1対1での手厚いサポート体制を強めています。

その強みを活かしながら個別セミナーでは、チャレンジャーのビジネスアイデアを、共にビジネスモデルに落とし込み、さらにそのビジネスモデルをブラッシュアップしました。

上記の丁寧な個別セミナーにより、本番までにより実現可能性の高いビジネスモデルにし、発表の質を上げることで、審査員や観客からの納得感を醸成しました。

- 実施日：1回目 9月5日～9月6日
2回目 10月4日～10月5日
- 実施時間：各1時間～1時間30分

チャレンジャー7名 紹介

Seven Challenger

Eri Oka

岡 えり

聴きだされるといふチャレンジ体験
新感覚ライブコミュニケーションサービス



JAPAN CHALLENGER
鎌倉 兎 /

Seven Challenger

Yuji Kubo

久保 裕司

Web3で実現する
デジタルタウンMAP構想



JAPAN CHALLENGER
四條 兎 /

Seven Challenger

Daiki Senda

仙田 大騎

地域貢献する公務員の起業
収益を上げて地域に還元



JAPAN CHALLENGER
美濃加茂 兎 /

Seven Challenger

Megumi Nakagawa

中川 めぐみ

「推し漁師」文化をつくりたい
漁師とおいしい魚を持続可能に



JAPAN CHALLENGER
富山 兎 /

The 13th Challenger

Tatsuki Nakata

中田 樹

量り売りを通じた人、自然、歴史、
文化が循環するサーキュラー・シティづくり



JAPAN CHALLENGER
豊岡 兎 /

Seven Challenger

Yukizumi Fujimura

藤村 幸澄

全く新しい、
ゲータイシヨップのカタチ



JAPAN CHALLENGER
京丹後 兎 /

Seven Challenger

Michinari Wada

和田 道也

銚子の倉庫
ふるさと納税発送サービス



JAPAN CHALLENGER
銚子 兎 /



中川めぐみ 『「推し漁師」文化をつくりたい！ ～漁師とおいしい魚を持続可能に～』

都内で、大手広告代理店や大手企業でキャリアを積み、突如、釣りの世界に。釣りアンバサダー、ライター、そして海女さんに。起業し、「漁師が誇りと夢を持てる未来をつくる」をミッションに、「漁師」と「漁業以外の人々」との架け橋に、企業イベントへの食材提供、企業イベントへのコンテンツ提供、社員研修、社員旅行等の企画運営の事業を展開

🎧 ウォーの役割①

“イケてる漁師”のリスト化（翻訳）

～SDGsでの分類分けと、チャレンジや課題の見える化～

🎧 ウォーの役割④

漁師町での研修・旅行の企画運営

～より深い学びや出会いを創出。国内生活者・インバウンド向け観光にも活用～

漁業体験

- ・漁の手伝い
- ・食品加工の手伝い
- ・釣り

漁師交流

- ・漁師メシ&懇親
- ・特別な食事体験

地域課題を学ぶ

- ・環境問題
- ・消滅可能性都市
- ・他の一次産業

🎧 実際にやってみました！（都内ITベンチャーと長崎県対馬の漁師をマッチング）

東京に漁師を招き、ミッションを体現するオフサイト

🎧 5カ年計画

第1フェーズ
市場作り

第2フェーズ
販売の勝ち筋を見つける

第3フェーズ
定着

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
目標売り上げ	1.5千万	3千万	7千万	1.5億	2億
人員計画	正社員1名 業務委託	正社員2名 業務委託	正社員3名 業務委託	正社員5名 業務委託	正社員5名 業務委託
事業目標	テスト ヒアリング	コンテンツの 盛り上げ	漁師の仲間 増やす	販売強化	基盤作成
販売戦略	・紹介 ・影響力のある企業の事例	・経営者釣り コミュニティ など	・メディア掲載	・販売提携先 ・クチコミ	・海外企業



中田樹

『量り売りを通した人、自然歴史文化が循環する サーキュラーシティづくり』

地域おこし協力隊2年で起業するタイプ。こうのとりの町、豊岡市で、「量り売り」を日本の文化に、クラフトグラノーラで業界の大手に挑む、From 豊岡で「買い方」をアップデートする。雑食のコウノトリは農薬は大敵。オーガニックな町に戻し、コウノトリが復活。オーガニックグラノーラで販路を広げる。



ミッション

- ① 「量り売り」を日本の文化に
- ② クラフトグラノーラで業界の大手に挑む
- ③ From 豊岡で「買い方」をアップデートする



量り売り × グラノーラ

<ul style="list-style-type: none"> - エコ&サステイナブル - 伝統的&最先端 - 推定市場規模（フランス） 2013年約133億円→ 2020年約1700億円 	<ul style="list-style-type: none"> - 量り売りとの相性がとても良い - 日本人の生活への定着 J - 推定市場規模（日本）が 20年で360億円に
---	---

量り売りショップ（豊岡）

Côte à Côte（コートコート）



和田道也 『銚子から始まる産地ロス流通のサプライチェーン構築』

現在の事業内容及び物流センターを行っており、このノウハウを活用して、銚子市にて、ふるさと納税の事業者として物流センターを提案。ふるさと納税を拡大するため移住して銚子に根付いた事業を行い公民連携した成功事例を創り将来的な展望として他地域に水平展開を計画。

1. 何故、神奈川出身の私が銚子でのビジネスを考えたのか？

■ 銚子とのご縁

- ・ 義母が数年前に5年ほど銚子に住んでいたことから家族でよく遊びに行った
- ・ 当時から銚子の方にお裾分けをいただいたり宿泊の際には空き家をお借りした
- ・ 数年経った今でもお野菜や鮮魚等が届く


▶ 何かご返しがしたいと思っていた

■ 会社設立と移住の決断

- ・ 現在物流センター運営、物流コンサルティング会社の役員
- ・ 物流の知見を活かして銚子で出来ることのないかと模索した

▶ 出資してもらい2021年に子会社を設立【そうせい株式会社】と命名

▶ 2022年12月には家族と移住することが決定



2

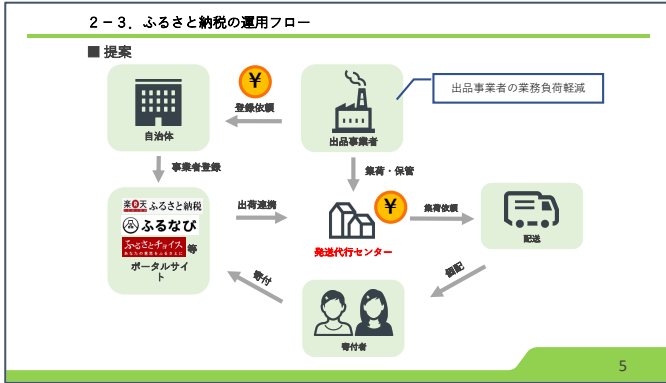
2-4. 出品代行サービス

EC構築スキームと似ている為、返礼品出品のご支援をする事が可能となります

EC	類似	ふるさと納税
ECサイトを構築するかネットモールに登録	掲載	ふるさと納税ポータルサイトへ自治体を通して登録
商品の画像を撮影し商品概要説明を記載、単価を設定し掲載	出品	返礼品画像を撮影し返礼品概要説明を記載、寄付額を設定し掲載
ECサイト及びネットモールでエンドユーザーが購入から商品がお渡しできるまでの運用を構築	運用	ポータルサイトによって運用が異なる為、各ポータルサイトで事業者が寄付者へ返礼品が渡るまでの運用を構築
売上を上げる為にSEO対策等CVを高める	改善	寄付、売上を上げる為にCVを高める

▶ ECサイトの運用構築、物流の知見をもってふるさと納税出品の支援
売上（寄付額）が上がることで事業者に新たな販売チャネルが出来ると共に直接的に自治体に寄付額が入る為、地域の活性化に繋がる

6



さいごに

今後の展望

ふるさと納税を拡大するため移住して銚子に根付いた事業を行い公民連携した成功事例を創り将来的な展望として他地域に水平展開いたします

銚子返礼品事業者の拡大 → 銚子ふるさと納税寄付額増額 → 地方の雇用創出 → 他自治体への水平展開 → 地方活性による国の活性化

10



仙田大騎 『公務員が行う起業』

消防士で公務員。クラフトビールに魅了され、公務員で事業を模索。一般社団法人を立ち上げ、無報酬であればと許可が出て展開する。旧中山道にある太田宿に古民家を改装して、蒸溜所とお店を開設。利益は、地元への貢献するなど、ソーシャルビジネスとして展開します。

愛知県 犬山市 (消防職員)

火事・救急の現場活動に従事

市民協働による地域防災

Vision 1 地域活性化ブランド商品クラフトビールづくり

<p>特産品の梨 →フルーティなビール</p>	<p>農林高校の果物 →甘ずっぱいビール</p>
<p>珈琲ショップ →香り高い黒ビール</p>	<p>地元のお米 →日本酒のようなビール</p>

Vision

- 1 地域活性化ブランドのクラフトビールづくり
- 2 廃棄食材を活用しフードロス削減
- 3 地域を元気にする取組みを支援

クラウドファンディング
ここでしか飲めないサステイナブルなビール
『美濃加茂ビール』をつくりたい！！

MINOKAMO BEER
令和4年12月開始予定

目標金額
7,000,000円

〇〇%達成 支援者数〇〇人

SNSで情報を発信します。

Minokamo Beer



岡 えり 『聴きだされるというチャージ体験 新感覚ライブコミュニケーションサービス』

Lively talkでは、聴くコミュニケーションで、チャンスを作り、孤独を減らすコンセプトともの展開しています。月に10万円以上を稼ぐことができたシングルマザーも現れています。長期の目標は、月5万円稼げる人を1万人つくることです。Livelyで人が元気になり、地域は豊かになるを目指します。

LivelyTalk は、
聴くコミュニケーションで
チャンス をつくり
孤独 を減らす

LivelyTalkをつくりました

LivelyTalk (α版) の実績

スナックおかえり

ふと、誰かお話ししたくなる時ってありませんか？
 辛くもやらず、心細くもならず、不安にならず。
 ・誰かお話ししたい気持ちがある
 ・とにかく話を聞いてもらってほしい
 ・第三者の意見がほしい
 ・生活や仕事に悩んでいる
 ・自分の気持ちを整理したい
 ・一緒に話そうぜ
 ・一緒に笑おうぜ

LivelyTalkホストの声

月に10万円以上を
稼ぐことができた

地方在住
40代シングルマザー



久保裕司 『デジタルタウンMAP構想』

国が全国で進めるデジタル田園都市計画にも即した、全国1500自治体・住民への手厚い行政サービスでもあります。地方の問題と可能性の、地図による見える化。地図をベースに、俯瞰的に情報を配置し、自分に必要な情報に0クリック、1クリックでアクセスしかも動画で補足。その地域の未来図を、市民みんなと一緒に描くという事です。

①：デジタル・タウンMAP FOR 四條躰

暇デジタル・タウンMAP

上部のグローバルNAVIで、同時に必要な情報をMAPに表示することが出来、そこをクリックすると、詳細動画を観ることが出来ます。

データベースは、Google MapのAPIを使用、低コストで自在にカスタマイズ可能です。

コロナ発熱外来も、緊急時の救急病院や産院所も、1クリックで表示可能です。

UIの下部には、関連動画のサムネイルを配置、必要な動画情報を1クリックで閲覧・視聴可能です。

⑤：デジタル・タウンMAPメタバース建築候補案

▲谷口智朗デジタルZoo美術館

▲デジタル飯盛城

▲デジタルビルズ

▲好長城の拠点地区

Q2：今のHPじゃ何がダメなんです？ ページビューもかなりありますよ。

A：はい、駄目です！20年前と何も進化していません。(テキスト+写真) そもそも、地元の方より、市外の入札業者さんばかりが見ていますw 検索BOXで調べても目的に到達できない迷宮サイトばかり(泣！) 公式サイトはそのままでも、特設サイトとして導入する価値があります。

面白法人カヤックは、「デジタル・タウンMAP」と親和性の高い事業、「SMOUT」や「まちのコイン」を、全国で展開しています。今までの中央集権方式ではない、地域からの自発的な自立を加速・推進するために、これらが三位一体となった取り組みが必要です！

地方から日本の改革を、三位一体となって推進する。

飯田信長

天下布武

SMOUT

まちのコイン



藤村幸澄 『全く新しい ケータイショップのカタチ』

地域に愛されるマチの携帯屋さんをコンセプトに、携帯電話に関わる事をなんでも対応する事で気軽に利用できるお店作りを行っています。大手携帯電話キャリアショップが出来ないような、サポートや商品を生み出す事が出来ること、これらをFC展開していく構想

事業概要

- 業種業態
 - ・スマートフォン教室
 - ・ICT/プログラミング教室
 - ・各種ブロードバンド取次
 - ・デジタル訪問設定サポート
 - ・スマホ修理業
 - ・地方創生モバイル「miraimo」運営
- 私たちにについて

地域に愛されるマチの携帯屋さんをコンセプトに、携帯電話に関わる事をなんでも対応する事で気軽に利用できるお店作りを行っています。大手携帯電話キャリアショップが出来ないような、サポートや商品を生み出す事が出来る事が私たちの自慢です。

端末販売だけでは食っていけない

キャリアの代理店制度が原因

キャリアから代理店に与えるインセンティブは回線販売や商品販売、各商材を販売した場合に對して支払われるものが多く、サポート系の業務には手数料が発生しない場合や少額であるため、代理店は、お店の運営を維持するために、サポート業務よりも販売業務を優先することがある。例えばスマホへのマイグレーションをとっても、販売には力を入れるが、操作などは簡単なものに限定され、LINEなどの他社アプリなどはお断りする事が多い。現状行っているスマホ教室も、マイグレーションや各商材を販売することが目的になっており、お客様のニーズに合っているとは思えない。

メイン商材の違い

キャリアショップ	スマホのちどり
<ul style="list-style-type: none"> スマホ教室 各種手続き 故障受付 本体販売 回線販売 クレジット販売 光回線販売 ネットワークサービス販売 	<ul style="list-style-type: none"> 出張販売 スマホ修理 スマホ教室 パソコン教室 サポート デジタル機器訪問サポート アクセサリ販売 格安SIM/携帯運営/販売 ブロードバンド回線販売

サポート商材を中心にユーザーを囲い込む

格安SIM事業

訪問販売 地域独自サービス サポートの充実化 低料金化 新たな産業開発

地方にしかできない新しい価値をモバイルに載せたい！

ローカルサポーター

全国から鎌倉に結集した「いざ鎌倉！ JAPAN CHALLENGER AWARD」

彼らチャレンジャーは地域を拠点に公民連携事業として活動しているケースが多く、拠点となる自治体等から応援メッセージが届き、ビデオレターで応援していきます。自治体首長など、独自の応援合戦で、会場はとても盛り上がりました。地域起業家にとって重要なのは、いかに地域を巻き込むか。それを実践しているのがよくわかります。



中川さん応援
朝日町 笹原町長



中田さん応援
豊岡市 関貫市長



和田さん応援
銚子市越川市長



仙田さん応援
犬山市 美濃加茂市



岡さん応援
鎌倉市 千田副市長



久保さん応援
四條畷市 東市長



藤村さん応援
京丹後市 中山市長

審査員

業界の最先端を走る6名の審査員の皆さんがチャレンジャーの事業プランに対してコメントをしました。



実行委員長 藤野英人



審査委員長 柳沢大輔



審査員 村口和孝



審査員 石坂典子



審査員 田澤麻里香



審査員 中村利江

オープニング



甲賀市地域おこし協力隊 忍者



出場するチャレンジャーたち



建長寺総長のご挨拶



審査員の登場



実行委員長挨拶

過去チャレンジャー登壇

前回のチャレンジャーが一同に集まりました。皆さん手弁当です。1年間、事務局は定期的なミーティングを行い、またアドバイスや事業サポートをしてきました。この1年でさらに成長し、事業も本格化してきました。理事の会社がチャレンジャーに出資するなど経営、資金面でも全面的にサポートしています。2年間サポート継続します。



坂尾英彦さん

グランプリを受賞して、その後クラファンを実施して450万円集めて、プロジェクトがまとまりました。野菜の加工場建設中、農泊事業、フランス料理のレストラン、アパートの空き家など進めています。藤野理事も、やなさわ理事もすでに訪れて、順調に進めています。海外向けに収穫体験を商品化に進めています。



村田淳一さん

乗鞍の山小屋をリノベーションをして、7月にオープン。10月末まで180名弱のお客様が来てくれるなど、常連客がすでにできています。エネルギー問題など、発電など来年はさらに環境に配慮した山小屋にします。



善積慎吾さん

リユース容器を鎌倉で利用も毎日、平均二十食ぐらいか。このパッケージで全国展開をしています。鈴鹿サーキットで一部を効果検証、渋谷でも新しい模索をしています。





今回グランプリを獲得したのは、中川めぐみさんと仙田大輝さんです。W受賞は初めて。審査員が真剣に議論し、全くもって同点。W受賞に決定しました。今後中川さん、仙田さんがどのような事業展開をしていくのか、楽しみです。グランプリには30万円の事業支度金を授与されます。公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト、審査員は、今後、他のジャパンチャレンジャーのサポートもしていきます！



写真 (AWARD)



写真 (AWARD)



出演者

JAPAN CHALLENGER

1. 中田樹
『量り売りを通じた人、自然歴史文化が循環する サーキュラーシティづくり』
2. 中川めぐみ
『「推し漁師」文化をつくりたい！～漁師とおいしい魚を持続可能に～』
3. 和田道也
『銚子から始まる産地ロス流通のサプライチェーン構築』
4. 仙田大騎
『公務員が行う起業』
5. 岡 えり
『聴きだされるというチャージ体験新感覚ライブコミュニケーションサービス』
6. 久保裕司
『デジタルタウンMAP構想』
7. 藤村幸澄
『京丹後発！全く新しいケータイショップのカタチ』

ゲスト

福島嵩仁（甲賀市 地域おこし協力隊）～忍者名嵩丸

ゲスト②

坂尾英彦、村田淳一、善積真吾

司会

平野裕加里、仲木威雄

JAPAN CHALLENGER 審査員

- 実行委員長 藤野英人（会長理事）
レオス・キャピタルワークス（株）代表取締役 会長兼社長
最高投資責任者（CIO）
- 審査委員長 柳沢大輔（副会長理事）
面白法人カヤック 代表取締役CEO
- 審査員 村口和孝（理事）
（株）日本テクノロジーベンチャーパートナーズ代表
- 外部審査員 石坂典子
石坂産業（株） 代表取締役
田澤麻里香
KURABITOSTAY 代表取締役社長
中村利江
出前館前代表取締役社長 エムスリー(株) 取締役

アドバイス

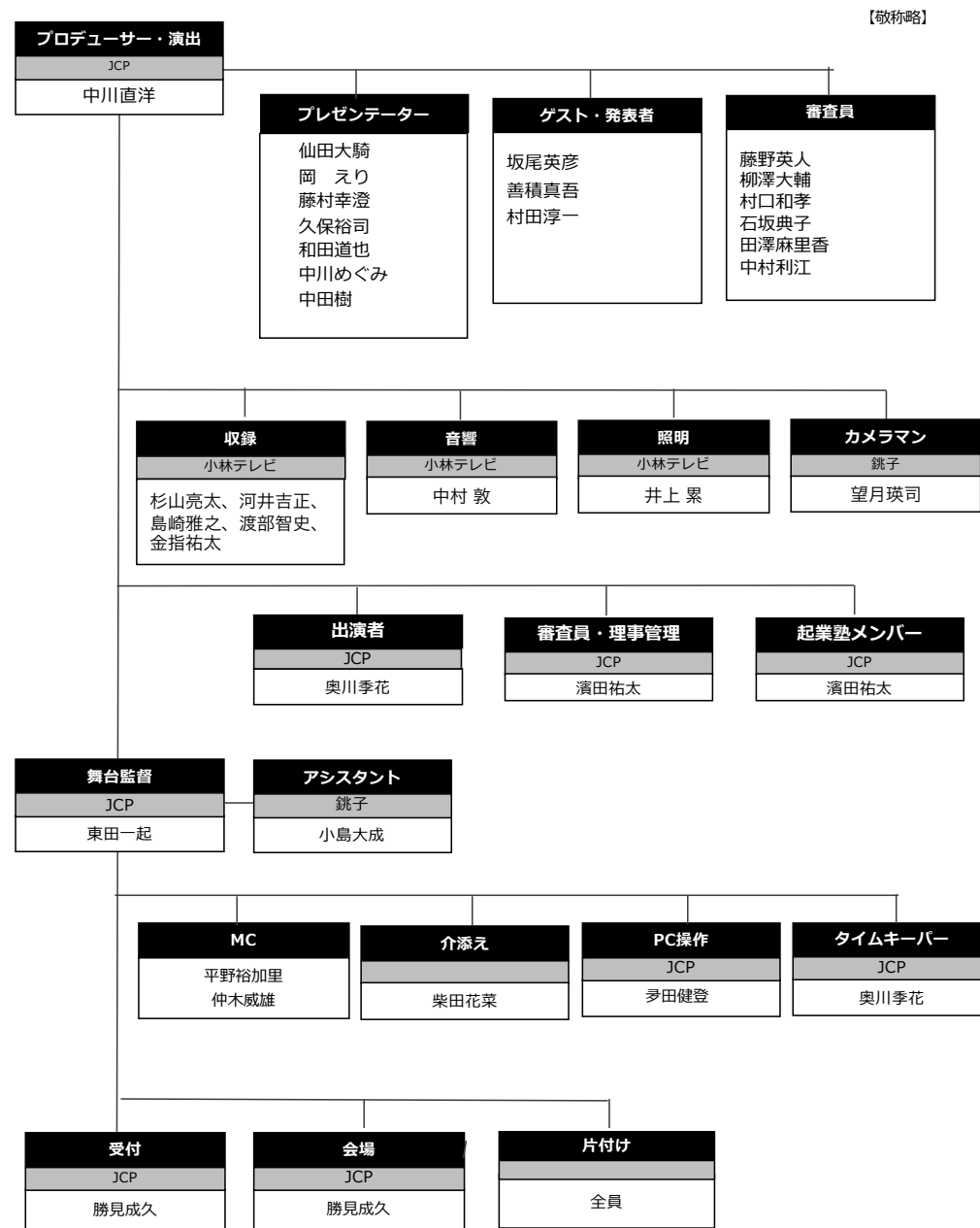
公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト役員

- ・行方一正（株式会社ピーストラベルプロジェクト代表取締役）
- ・関幸子（株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役）
- ・坂東秀昭（株式会社家印）
- ・江成道子（一般社団法人シングルマザー支援協会 代表理事）
- ・本田亮（株式会社本田亮事務所）
- ・勝見成久（サポートワン株式会社 代表取締役社長）
- ・渡邊智恵子（一般社団法人サーキュラーコットンファクトリー代表理事）

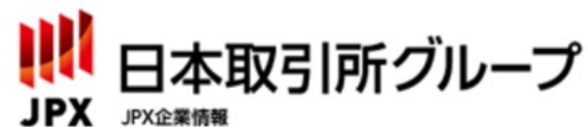
スタッフ（組織図）

運営スタッフ一覧

総合プロデューサー 演出・音楽	: 中川直洋
プロデューサー会場運営	: 勝見成久
チーフディレクター 舞台監督	: 東田一起
ディレクター タイムキーパー	: 奥川季花
ディレクター 投票	: 長田楓加
ディレクター 進行	: 多田健登
ディレクター 審査員担当	: 濱田祐太
アシスタントプロデューサー 介添え	: 柴田花菜
アシスタント	: 小島大成
運営・収録	: 杉山亮太 : 河井吉正 : 島崎雅之 : 渡部智史 : 金指祐太
音響	: 中村 敦
照明	: 井上 累
カメラマン	: 望月瑛司



後援



サポーター

